

## 滋賀県立大学 大学COC事業 近江地域学会研究会 「生きもの豊かな農村づくり研究会」(設置企画書)

作成:滋賀県立大学地域共生センター 北井

kitai.k@office.usp.ac.jp/TEL:0749-28-9851

### 1. 設立の趣旨

- ・ 滋賀県では、県内の暮らしのほとんどの排水が琵琶湖へと流れ込む地形条件から、「せっけん運動」が展開されるなど、琵琶湖や周辺環境の保全に熱心な取り組みが展開されてきた。  
農業でも同じく琵琶湖を守る取り組みは盛んで、「環境こだわり農産物」認証制度や、「魚のゆりかご水田プロジェクト」、「豊かな生きものを育む水田づくり」などの取り組みを通じ「**食べることで、琵琶湖を守る**」のスローガンの元、琵琶湖の環境保全・生態系保全の取り組みが行われている。
- ・ しかしながら、それぞれの取り組みが担い手の高齢化や後継者不足などの課題を抱えており、農産物の付加価値向上や、マーケティングへのアプローチなどを充実させ、農産物の販売面でも効果を得られる環境保全型農業として、さらなる発展を目指した戦略的取り組みへの模索が続いている。
- ・ 本研究会は、各分野の専門家や取り組み主体を超えた組織体として、滋賀県の生きものを育む農業のあり方について、これまでの活動蓄積の精査から、調査研究や議論を深め、今後の取り組み発展に資する提案を行っていくことを目的に設立する。

### 2. 活動内容

- ① 県内の生きものを育む農業についての情報収集、調査研究を行う  
とりわけ、活動当初においては「魚のゆりかご水田プロジェクト」の取り組み展開に絞った活動を行う
- ② これまでの取り組み実績を元に、課題整理を行う  
政策や啓発事業、各地域での取り組みについて情報整理し、課題を見いだす
- ③ 普及啓発に向け効果的な取り組みの検証を行う  
滋賀県立大学内向けに啓発活動などを行い、アプローチの課題を整理する
- ④ 生きもの田んぼ米の先進事例調査からブランド米販売に必要な要素整理を行う
- ⑤ マーケティングやブランディングの視点から専門家の意見を聞く 等

### 3. 参画メンバー

- ・ 京都府立大学生命環境科学研究科 講師 中村 貴子
  - ・ 琵琶湖博物館 主任学芸員 金尾 滋史
  - ・ 湖北農業農村振興事務所田園振興課 水谷 智
  - ・ 滋賀県庁農政課 青田 朋恵
  - ・ 滋賀県農村振興課
  - ・ 滋賀県立大学環境科学部 助教 皆川 明子(事務局)
  - ・ 滋賀県立大学地域共生センター 特定プロジェクト研究員 北井 香(事務局支援)
- その他、魚のゆりかご水田取り組み地域(野洲市・東近江市等)活動者、JA などから都度参加を募り活動